

福岡節子氏文書概要

1: 文書群番号	095106
2: 文書群名	福岡節子氏文書
3: 出所	福岡節子家
4: 家業・役職等	尼崎三曲協会理事長ほか
5: 地名	摂津国武庫郡西新田／兵庫県武庫郡西新田／武庫郡大庄村西新田／尼崎市西／尼崎市西・大庄西町ほか
6: 行政区分	大庄村／尼崎市
7: 歴史	福岡家は昭和9年(1934)に節子氏の父由松氏の代に、大庄村西字本田(現大庄西町)に節子氏姉妹の転地療養のため八尾から移住。由松氏は鴻池銀行から三和銀行に勤務。また、節子氏は生田流箏・三弦の教授で、尼崎三曲協会創立時(昭和30年2月)からの会員で、のち役員歴任後平成元年(1989)から協会理事長をつとめる。また、尼崎三曲協会は昭和30年2月、市内在住・在勤・教授所をもつ三曲(箏・三味線・尺八)の師匠らを対象に、各流派を越えて市民文化の昂揚に寄与することを目的に創立された。当時の市長、薄井一哉氏を会長に市議会議員、尺八・箏三弦の師匠らとその発起人であった。協会の活動は研究発表会(のちに春秋季演奏会)・市民文化祭参加・姉妹都市市民文化交流会のための訪独・総会・懇親会など多岐にわたる。会員数も昭和46年には200名を越え、活発な活動が続けられている。
8: 伝来	平成7年(1995)7月、新本三男市議会議員から阪神・淡路大震災での被災により、福岡家が家屋を解体することを確認。調査の上、大量廃棄された後残った資料(写真資料中心)を借用。その後尼崎三曲協会関係資料を追加借用。同11年5月、福岡氏より寄贈。
9: 史料入手先	福岡節子氏(原蔵者)
10: 点数	466点(目録件数272件)
11: 年代	昭和9年(1934)～平成7年(1995)
12: 構造と内容	①写真資料を中心とした昭和戦前期の大庄尋常高等小学校・地方振興事業関係史料②福岡家の上棟記念写真など家関係の写真資料③尼崎三曲協会関係史料から構成される。①は大庄尋常高等小学校の卒業アルバムや、室戸台風で倒壊した校舎跡でのクラス写真、戦後に撮影された育英会理事就任写真が含まれる。ほかに都市計画街路の一部を含んだ地方振興事業のひとつである新設道路工事費に関する文書もある。②の上棟記念写真は当時の大庄地区(東大島・西大島方面)の景観が一望できる貴重な一枚である。福岡家のスナップ写真や尼崎繁栄節大会時の写真もあり、当時の風俗を物語る資料である。③は本史料群の中心をなす文書で、協会創立時の昭和30年(1955)から同63年までの組織運営・活動内容などが詳細に把握できる。また、平成6年(1994)に姉妹都市であるドイツ・アウグスブルグ市を文化交流使節として訪問した史料もある。現在まで続く尼崎の文化団体の実態を伝える史料である。
13: 関連史料	-
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	河島裕子